

グローバルREITウィークリー

2017年1月第4週号(2017年1月23日発行)

先週(2017年1月16日~1月20日)のグローバルREIT市場の動き

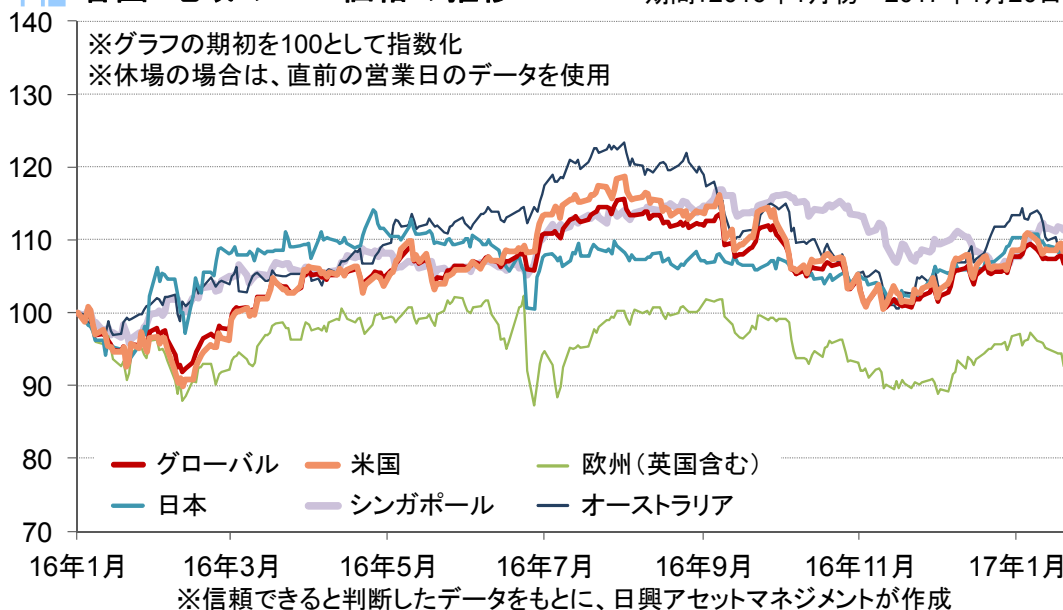
先週のグローバルREIT市場は、20日の米大統領就任式を前に投資家の様子見姿勢が強まるなか、方向感の乏しい展開となり、全体では前週末比▲0.1%となりました。

米国では、19日に発表された製造業指数や週間新規失業保険申請件数が、予想を上回る良好な内容となり、長期金利が一時上昇すると、REITは下落する場面もみられましたが、週前半に底堅く推移したことや、20日の大統領就任演説での政策内容に目新しさはなく、長期金利が落ち着いた推移となったことなどもあり、REITは週を通じて堅調な展開となりました。

英国ならびに欧州では、メイ英首相のEU(欧州連合)からの強硬離脱姿勢が嫌気されたほか、19日に発表された2016年12月の英住宅価格指標が市場予想を下回ったこと、19日開催のECB(欧州中央銀行)理事会で4月からの量的緩和の規模縮小の政策決定が再確認されたこと、米長期金利が上昇したことなどの悪材料が重なり、両REITは軟調となりました。

各国・地域のREIT価格の推移

期間:2016年1月初~2017年1月20日



各国・地域別のREIT市場および為替の動き

▶1月20日時点(1週間前=1月13日、3か月前=2016年10月20日、6か月前=7月20日、1年前=1月20日、3年前=2014年1月20日)なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

| 国・地域 | 先週末 | 騰落率(%) | | | | |
|----------|----------|--------|------|-------|------|------|
| | | 週間 | 3ヵ月 | 6ヵ月 | 1年 | 3年 |
| グローバル | 507.29 | ▲0.1 | 0.4 | ▲5.7 | 15.2 | 38.9 |
| 米国 | 1,193.03 | 0.6 | 1.3 | ▲6.0 | 17.9 | 41.8 |
| カナダ | 914.67 | 0.5 | 0.6 | ▲4.4 | 24.5 | 26.7 |
| 欧州(ユーロ圏) | 627.38 | ▲2.8 | ▲5.4 | ▲7.1 | 6.4 | 31.2 |
| 英国 | 77.09 | ▲3.0 | ▲1.8 | ▲3.2 | ▲2.4 | 14.1 |
| 日本 | 397.84 | ▲0.1 | 3.7 | ▲0.2 | 16.6 | 34.0 |
| 香港 | 581.25 | ▲0.8 | ▲5.2 | ▲6.3 | 24.5 | 63.2 |
| シンガポール | 506.56 | ▲0.0 | ▲2.8 | ▲1.6 | 15.0 | 23.4 |
| オーストラリア | 637.97 | ▲2.0 | ▲0.9 | ▲12.1 | 8.5 | 52.8 |

| 為替(対円) | 先週末 | 騰落率(%) | | | | |
|------------|--------|--------|------|-----|-------|-------|
| | | 週間 | 3ヵ月 | 6ヵ月 | 1年 | 3年 |
| 米ドル | 114.63 | 0.1 | 10.3 | 7.3 | ▲2.0 | 10.0 |
| カナダ・ドル | 86.06 | ▲1.4 | 9.5 | 5.1 | 6.7 | ▲9.6 |
| ユーロ | 122.68 | 0.6 | 8.0 | 4.2 | ▲3.7 | ▲13.1 |
| 英ポンド | 141.82 | 1.7 | 11.3 | 0.5 | ▲14.5 | ▲17.1 |
| 香港ドル | 14.77 | ▲0.5 | 10.3 | 7.2 | ▲1.2 | 10.0 |
| シンガポール・ドル | 80.42 | 0.3 | 7.7 | 2.1 | ▲1.1 | ▲1.5 |
| オーストラリア・ドル | 86.59 | 0.9 | 9.2 | 8.3 | 7.2 | ▲5.7 |

※為替の騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス(▲)の場合は円高
※為替レートは、原則としてニューヨークの17時時点のものです。

▶当資料中のREIT価格については、S&P REIT指数のグローバルおよび各国・地域別指数(現地通貨ベース・トータルリターン)のデータを使用しています。

各指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、その提供元に帰属します。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界の経済、金融・資本市場についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する見解は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

日興アセットマネジメント

facebook twitter で、
経済、投資の最新情報をお届けしています。